

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 32 週（8 月 5 日～8 月 11 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人	類型	患者 1 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O91 1 人
四類感染症 レジオネラ症	1 人	病型	肺炎型
五類感染症 ウイルス性肝炎	1 人	病型	B 型
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人	菌種	<i>Klebsiella</i> sp. 2 人、 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人	血清群	G 群
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人		
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人		
梅毒	12 人	病型	早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 3 人
百日咳	3 人	年齢階級	1 歳 1 人、4 歳 1 人、 7 歳 1 人

※今週は、長期休診等の影響により定点把握対象疾患の動向は参考値となります。

なお、今週報告のあった定点医療機関は、インフルエンザ/COVID-19 定点で 224 か所（指定定点数 261）、小児科定点で 143 か所（指定定点数 164）、眼科定点で 38 か所（指定定点数 42）でした。

### < 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症（11. 11→9. 32：図 1-1, 2）の定点当たり報告数は、前週に比べて減少した。保健所別では、幸手（23. 25）保健所管内からの報告が最も多く、次いで坂戸（14. 20）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 94 人（前週 101 人）であり、年齢階級別では、65 歳以上が全体の約 85% となっている。手足口病（9. 18→5. 96：図 2-1, 2）の定点当たり報告数は、第 28 週をピークに減少が続いているものの、依然として高い水準にある。保健所別では、引き続き南部（13. 00）保健所管内からの報告が特に多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 4 人、流行性角結膜炎 32 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 25 人（前週 32 人）の報告があった。マイコプラズマ肺炎（図 3）の報告数は前週に比べて減少したが、多い状況が続いている。好発年齢を年齢 3 歳階級別でみると、小学校低学年にあたる 6～8 歳で 6 人（前週 12 人）、小学生高学年にあたる 9～11 歳で 3 人（前週 10 人）と減少したが、3～5 歳では 10 人（前週 5 人）と増加し、全体の 40% を占めた。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idschtml/>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第32週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

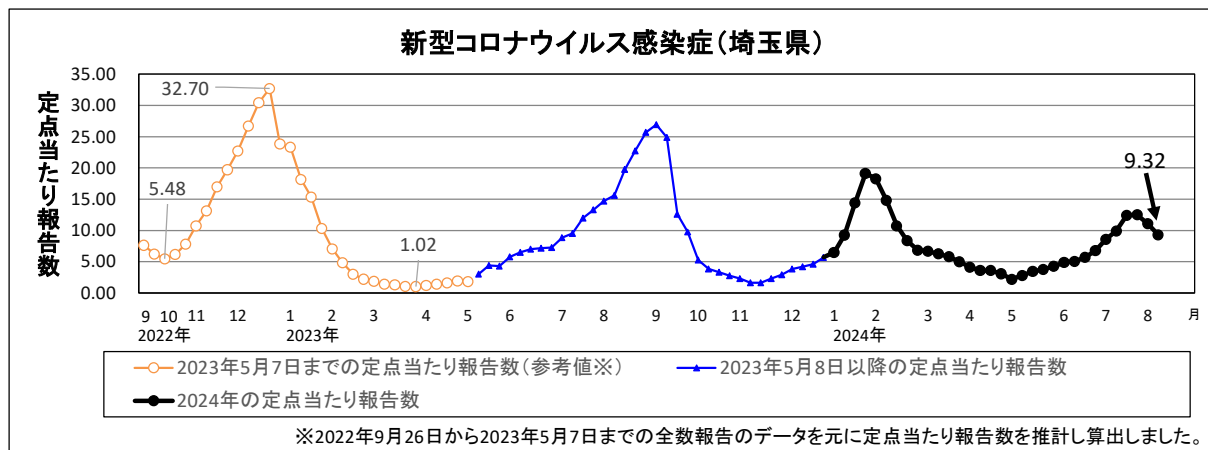
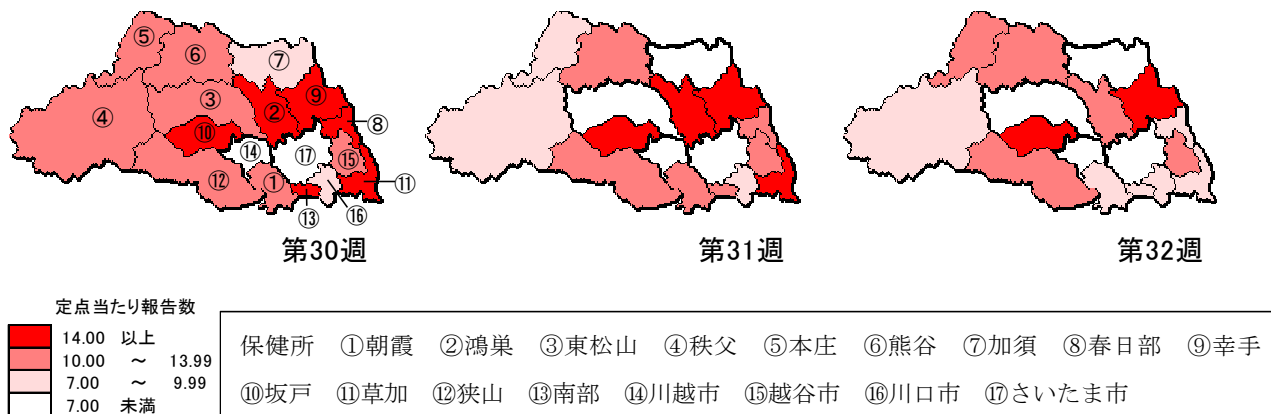


図1-2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移 (2024年第30週～第32週)





感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第32週)

(2024年8月13日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	89			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		26	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	1	71
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		14	侵襲性肺炎球菌感染症	1	63
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	8	水痘(入院例に限る)		1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	58	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	12	261
急性脳炎		17	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	85	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		22	百日咳	3	58
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	16	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第32週

8月5日~8月11日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	新型コロナウイルス感染症(入院)
		#1																				
全 県	報告数	41	2,088	87	81	352	484	30	852	30	35	195	10	4	32	-	-	25	-	-	-	94
	定点当たり	0.18	9.32	0.61	0.57	2.46	3.38	0.21	5.96	0.21	0.24	1.36	0.07	0.11	0.84	-	-	2.08	-	-	-	7.83
朝 霞	報告数	4	192	14	6	37	62	5	137	3	1	23	-	-	3	-	-	2	-	-	-	8
	定点当たり	0.19	9.14	0.93	0.40	2.47	4.13	0.33	9.13	0.20	0.07	1.53	-	-	0.75	-	-	2.00	-	-	-	8.00
鴻 巣	報告数	-	180	2	18	22	33	-	67	-	7	6	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	-	12.00	0.22	2.00	2.44	3.67	-	7.44	-	0.78	0.67	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	7	38	-	2	5	30	1	17	1	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	1.00	5.43	-	0.50	1.25	7.50	0.25	4.25	0.25	0.25	1.00	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
秩 父	報告数	-	38	6	4	7	-	-	9	-	-	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	7.60	2.00	1.33	2.33	-	-	3.00	-	-	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	-	61	-	2	2	-	1	5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	10.17	-	0.67	0.67	-	0.33	1.67	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	3	135	5	3	15	16	2	29	2	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	定点当たり	0.23	10.38	0.63	0.38	1.88	2.00	0.25	3.63	0.25	0.63	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.00
加 須	報告数	2	36	-	4	2	1	-	24	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	0.25	4.50	-	0.80	0.40	0.20	-	4.80	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	7.00
春 日 部	報告数	1	91	8	2	52	13	1	45	-	1	7	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.10	9.10	1.33	0.33	8.67	2.17	0.17	7.50	-	0.17	1.17	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	2	279	11	11	42	8	-	26	-	-	3	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.17	23.25	1.57	1.57	6.00	1.14	-	3.71	-	-	0.43	0.14	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	5	142	4	1	3	36	1	41	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	定点当たり	0.50	14.20	0.67	0.17	0.50	6.00	0.17	6.83	-	0.33	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.00
草 加	報告数	3	144	4	1	14	38	-	39	4	3	19	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.20	9.60	0.36	0.09	1.27	3.45	-	3.55	0.36	0.27	1.73	0.18	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	5	224	11	5	47	35	1	96	-	3	16	3	4	6	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.25	11.20	0.92	0.42	3.92	2.92	0.08	8.00	-	0.25	1.33	0.25	1.00	1.50	-	-	-	-	-	-	3.00
南 部	報告数	1	68	7	5	28	26	2	52	6	1	24	-	-	-	-	-	10	-	-	-	10
	定点当たり	0.14	9.71	1.75	1.25	7.00	6.50	0.50	13.00	1.50	0.25	6.00	-	-	-	-	-	10.00	-	-	-	10.00
川 越 市	報告数	1	53	1	6	3	12	3	52	-	2	12	-	-	3	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.08	4.42	0.14	0.86	0.43	1.71	0.43	7.43	-	0.29	1.71	-	-	1.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	2	112	1	1	9	31	2	16	1	2	5	1	-	-	-	-	6	-	-	-	16
	定点当たり	0.18	10.18	0.17	0.17	1.50	5.17	0.33	2.67	0.17	0.33	0.83	0.17	-	-	-	-	6.00	-	-	-	16.00
川 口 市	報告数	2	155	5	3	20	62	2	56	6	3	36	-	-	4	-	-	4	-	-	-	7
	定点当たり	0.11	8.61	0.38	0.23	1.54	4.77	0.15	4.31	0.46	0.23	2.77	-	-	1.33	-	-	4.00	-	-	-	7.00
さいたま市	報告数	3	140	8	7	44	81	9	141	7	3	26	1	-	11	-	-	3	-	-	-	17
	定点当たり	0.09	4.12	0.33	0.29	1.83	3.38	0.38	5.88	0.29	0.13	1.08	0.04	-	1.22	-	-	3.00	-	-	-	17.00

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

8月 13日 15:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第32週 8月5日～8月11日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	41	-	-	1	1	1	2	4	3	2	-	1	5	2	2	4	4	3	1	2	3
新型コロナウイルス感染症	2,088	16	33	65	34	21	17	24	15	16	22	18	153	107	202	218	234	273	218	227	175
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	87	9	14	32	22	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	81	-	4	18	13	14	7	9	7	1	4	2	-	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	352	1	1	14	22	25	37	42	42	36	28	17	55	4	28						
感染性胃腸炎	484	1	32	65	62	42	51	34	37	32	22	18	45	4	39						
水痘	30	-	1	3	4	1	2	1	5	3	3	4	2	-	1						
手足口病	852	7	66	197	141	92	106	107	53	27	14	11	21	2	8						
伝染性紅斑	30	-	-	1	-	2	2	8	6	5	3	2	1	-	-						
突発性発しん	35	1	4	18	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	195	1	15	37	31	32	23	21	16	10	1	3	2	1	2						
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	2	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	4	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
流行性角結膜炎	32	1	-	-	1	-	-	1	-	1	2	1	1	1	2	12	4	1	1	3	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	25	-	5	11	7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	94	2	1	1	2	-	-	-	-	2	-	-	2	2	2	3	77				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第30週 (7月22日～7月28日)

令和6年8月14日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は第25週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(9.83)、高知県(0.80)、京都府(0.73)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は60例と前週と比較して増加した。都道府県別では21都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(14例)、10代(2例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(4例)、60代(6例)、70代(7例)、80歳以上(21例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(31.38)、宮崎県(25.98)、熊本県(25.46)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は4,579例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(136例)、1～9歳(100例)、10代(43例)、20代(44例)、30代(93例)、40代(105例)、50代(238例)、60代(448例)、70代(1,112例)、80歳以上(2,260例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は高知県(5.36)、愛媛県(5.16)、宮崎県(5.06)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(1.65)、北海道(1.26)、鹿児島県(1.20)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(5.72)、鳥取県(5.42)、宮崎県(5.25)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(7.81)、福井県(5.44)、山形県(4.79)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は三重県(25.89)、長野県(24.67)、静岡県(20.93)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は神奈川県(0.50)、東京都(0.36)、青森県(0.35)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.87)、宮崎県(4.36)、静岡県(4.25)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.21)、大阪府(0.10)である。

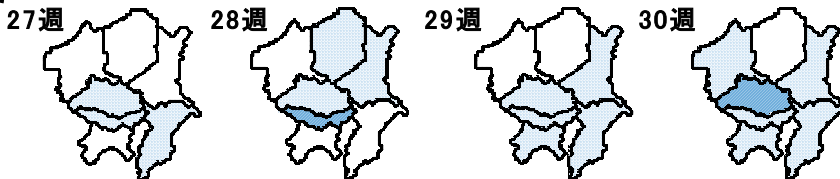
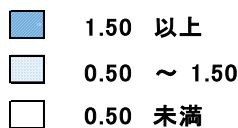
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第27週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大阪府(3.22)、兵庫県(2.21)、福井県(2.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。広島県から1例報告があり、年齢別では0歳であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第30週(7月22日～7月28日): 通巻第26巻 第30号 より

## <関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(1.67)からの報告が多い。

### マイコプラズマ肺炎



2024年 30週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	1,925	449	49	17	24	65	79	111	104
	定点当たり	0.39	0.29	0.42	0.22	0.28	0.25	0.39	0.27	0.28
新型コロナウイルス感染症	報告数	72,003	17,712	1,746	856	928	3,269	3,211	3,800	3,902
	定点当たり	14.58	11.61	14.80	11.26	10.92	12.52	15.82	9.13	10.66
RSウイルス感染症	報告数	5,502	459	66	55	26	89	48	78	97
	定点当たり	1.75	0.48	0.89	1.15	0.49	0.54	0.38	0.30	0.42
咽頭結膜熱	報告数	1,506	397	36	2	57	92	45	70	95
	定点当たり	0.48	0.41	0.49	0.04	1.08	0.56	0.36	0.27	0.41
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,104	2,120	371	54	91	385	407	472	340
	定点当たり	2.26	2.22	5.01	1.13	1.72	2.35	3.23	1.81	1.47
感染性胃腸炎	報告数	8,952	2,810	159	50	184	593	479	760	585
	定点当たり	2.85	2.94	2.15	1.04	3.47	3.62	3.80	2.91	2.53
水痘	報告数	563	226	6	5	7	46	26	60	76
	定点当たり	0.18	0.24	0.08	0.10	0.13	0.28	0.21	0.23	0.33
手足口病	報告数	37,428	12,044	782	569	335	2,310	1,478	3,582	2,988
	定点当たり	11.93	12.59	10.57	11.85	6.32	14.09	11.73	13.72	12.94
伝染性紅斑	報告数	334	280	8	5	3	33	22	94	115
	定点当たり	0.11	0.29	0.11	0.10	0.06	0.20	0.17	0.36	0.50
突発性発しん	報告数	811	232	14	13	18	44	18	72	53
	定点当たり	0.26	0.24	0.19	0.27	0.34	0.27	0.14	0.28	0.23
ヘルパンギーナ	報告数	6,610	2,542	149	47	164	482	354	673	673
	定点当たり	2.11	2.66	2.01	0.98	3.09	2.94	2.81	2.58	2.91
流行性耳下腺炎	報告数	156	64	4	2	11	9	7	13	18
	定点当たり	0.05	0.07	0.05	0.04	0.21	0.05	0.06	0.05	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	19	4	-	-	-	3	-	-	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	0.07	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	351	150	27	10	1	24	26	20	42
	定点当たり	0.50	0.72	1.59	0.83	0.07	0.57	0.74	0.51	0.84
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	14	4	-	-	-	-	1	2	1
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	-	0.11	0.08	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	374	78	12	2	5	20	5	27	7
	定点当たり	0.78	0.90	0.92	0.29	0.56	1.67	0.56	1.08	0.58
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査  
2024年

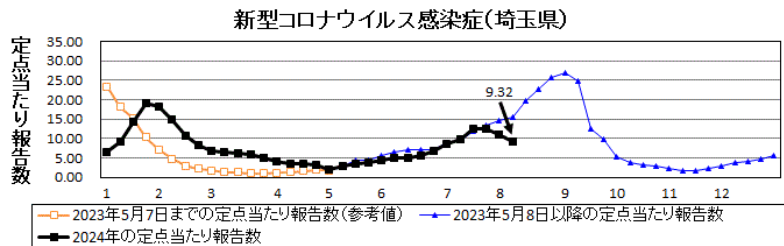
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第32週

2024年第32週（8月5日～8月11日）の要点

[新型コロナウイルス感染症](#)の定点当たり報告数は、前週に比べて減少しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">手足口病</a>	↓	★★★★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↓	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↓	★★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン